

# 塩分摂取量簡易測定器

## 『減塩モニタ』

1日あたりの塩分摂取量を  
夜間尿+早朝尿から測定



① 夜間尿+早朝尿を  
全量カップに採取

③ 電源を押すと  
15秒で測定  
塩分摂取量を  
グラム表示

② センサーを  
カップに差込む

ご注意

本測定器は医療機器ではありません  
したがって診断治療には使うことができません

本測定器は家庭用簡易測定器です。高精度な測定が  
必要な時は医療機関で24時間蓄尿分析を行ってください



生活習慣病の予防を目指すベンチャー

(株)河野エムイー研究所

# 高血圧・腎臓病の塩分管理に

## 1日何gの塩分を摂っていますか？

食品名	目安量	塩分
焼き魚定食	1人前	6.5g
天丼	1人前	4.6g
ラーメン	1人前	5.5g
味噌汁	1杯	1.3g
梅干し	大1個	2.2g

1日あたりの塩分摂取量	
日本人の平均値	男性 11.4g 女性 9.6g
厚生労働省の推奨値	男性 9.0g 女性 7.5g
WHO高血圧推奨値	5.0g
高血圧学会推奨値	6.0g
慢性腎臓病ガイドライン	6.0g



### 推薦の言葉

朽久保 修

とちぼ おさむ

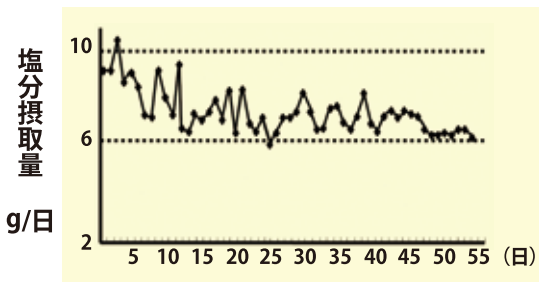
横浜市立大学大学院  
医学研究科特任教授  
医学博士

塩分は高血圧や胃がんに関与しています。これらの予防のためには塩分摂取量を軽減することがきわめて大切です。摂取した塩分の大部分は、尿中に排出されますので、尿を測定すれば正確な塩分摂取量を測定できます。日々の塩分摂取量と早朝血圧を家庭で測り、減塩に努めていくことが高血圧の予防に非常に役に立つと思います。

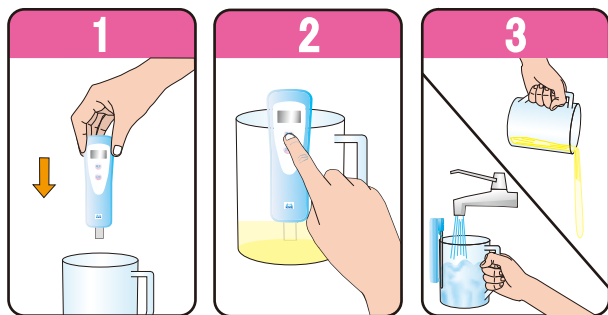


- 夜間尿+早朝尿を全量カップに採取ボタンを押すと15秒で測定表示
- 尿量と尿塩分濃度を測定し、1日摂取塩分量を演算・デジタル表示(例 10.6g)
- 15回分のデータを保存

減塩モニタ使用例 69歳、男性



### 使用方法



1 夜間尿+早朝尿をカップに入れてください。センサーをカップに差し込みます。

2 測定ボタンを押して約15秒お待ちください。自動的に測定表示します。

3 尿を捨ててセンサーとカップを水洗してください。

### 仕様

商品名	塩分摂取量簡易測定器『減塩モニタ』	測定項目(塩分)	導電率法
形式	KME-03	測定範囲(塩分)	0.3~2.0%
構成	本体・カップ・取扱説明書	温度範囲	10~35℃
測定対象	夜間尿+早朝尿	電池	CR2032 1個
測定項目(尿量)	抵抗導電率法	電池寿命	3年以上
測定範囲(尿量)	200~1000ml	センサー寿命	2年以上
		原産国	日本 Made in Japan

標準価格(税抜き) 減塩モニタ(センサー、カップ込み) 27,000円 交換用センサー 5,000円

#### ・測定精度に関する注意

1. 夜間8時間分の採尿を前提としています。睡眠時間が長いと測定値が大きくなり、短いと小さい測定値になります。
2. カリウム(野菜、果物)を多く食べると、実際より大きい測定値になります。
3. 腎機能が低下すると測定値が実際より大きくなる場合があります。

#### ・安全に関する注意

商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

株式会社 河野エムイー研究所

〒213-0012

神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1KSP西609C

TEL 044-811-3356 FAX 050-3737-0278